

東京創元社の翻訳ミステリ

◎第3回翻訳ミステリー大賞受賞作、待望の文庫化！



『忘れられた花園』上下

ケイト・モートン／青木純子訳（創元推理文庫） 5月22日刊行

1913年、オーストラリアの港にお伽噺の本とともに取り残された少女ネルの物語は、2005年、祖母の過去を知る旅に出た孫娘カサンドラが、英国コーンウォールに遺されたコテージの、忘れられた花園の封印を解くことで完結する。デュ・モーリアの後継ともいわれるモートンが描く、母・娘・孫の三代にわたる極上の物語をあなたに。第3回翻訳ミステリー大賞受賞作、待望の文庫化。最新作『水辺の館（仮）』は8月刊行予定！

◎オーストリアを代表する作家の研ぎ澄まされし傑作

『静寂—ある殺人者の記録』

トーマス・ラープ／酒寄進一訳（東京創元社／単行本） 6月刊行

蝶の羽ばたき、彼方の梢のそよぎ、森を這うトカゲの気配。カールの耳は、生まれたときからそのすべてが聞こえるほど敏感だった。心を病んだ母親の入水をきっかけに、彼は死という「静寂」こそが安らぎであると確信する。この世界にとってあまりにも異質に生まれついてしまった、純粹で奇妙な殺人者の生涯とは。オーストリアを代表する作家の、ヨーロッパ読書界を震撼させた傑作！

◎その他のおすすめ作品

- 『海岸の女たち』 トーヴェ・アルステルダール／久山葉子訳（創元推理文庫）
【4月刊行】失踪した夫を探し舞台美術家の女性はパリへ飛ぶ。スウェーデン発、破格のデビュー作！
- 『約束』 ロバート・クレイス／高橋恭美子訳（創元推理文庫）
【5月刊行】第6回最終候補作『容疑者』の続編！ マギーとスコットの名コンビふたたび！
- 『穢れの町 アイアマンガー三部作2』 エドワード・ケアリー／古屋美登里訳（東京創元社／単行本）
【5月刊行】塵屋敷のロミオとジュリエットの運命は!? 『堆塵館』待望の続編、舞台はロンドン!!
- 『彼女たちはみな、若くして死んだ』 チャールズ・ボズウェル／山田順子訳（創元推理文庫）
【6月刊行】MWA賞作家が綴る10の犯罪。後世のミステリに多大な影響を与えた幻の作品集。

東京創元社の翻訳ミステリ

◎「書評七福神の今月の一冊」（2016/11～）——次回の大賞受賞作がこの中に？



- 『クリスマス朝に』 マージェリー・アリングガム／猪俣美江子訳（創元推理文庫）
【千街晶之氏の11月ベスト】日本オリジナル短編集〈キャンピオン氏の事件簿〉第3弾！
- 『人形』ダフネ・デュ・モーリア／務台夏子訳（創元推理文庫）
【杉江松恋氏の1月ベスト】『レベッカ』『鳥』で知られる名手の傑作短編集！ 初期作14編を収録。
- 『聖エセルドレダ女学院の殺人』ジュリー・ベリー／神林美和訳（創元推理文庫）
【千街晶之氏の1月ベスト】寄宿学校の7人の少女が協力して校長たちの死体を隠し、犯人を探す！
- 『失踪者』上下 シャルロット・リンク／浅井晶子訳（創元推理文庫）
【北上次郎、酒井貞道、吉野仁氏の1月ベスト】“ドイツの宮部みゆき”ベストセラー作家の最高傑作！



- 『深い穴に落ちてしまった』イバン・レピラ／白川貴子訳（東京創元社／単行本）
【川出正樹氏の1月ベスト】穴に落ちた兄弟の運命は？ スペイン発、大人のための寓話。
- 『処刑の丘』ティモ・サンドベリ／古市真由美訳（東京創元社／単行本）
【川出正樹、北上次郎氏の2月ベスト】フィンランドの暗部を描く傑作。〈推理の糸口〉賞受賞作。
- 『青鉛筆の女』ゴードン・マカルパイン／古賀弥生訳（創元推理文庫）
【酒井貞道、千街晶之、吉野仁氏の2月ベスト】小説原稿と手紙で構成される驚異の三重構造ミステリ！！
- 『コードネーム・ヴェリテイ』エリザベス・ウェイン／吉澤康子訳（創元推理文庫）
【川出正樹、霜月蒼氏の3月ベスト】再読必至！ 慟哭不可避！ ふたりの少女の戦いの記録。

◎さらば、フロスト警部——超人気警察小説シリーズ最終巻、6月刊行！

『フロスト始末』上下 R・D・ウィングフィールド／芹澤恵訳（創元推理文庫）